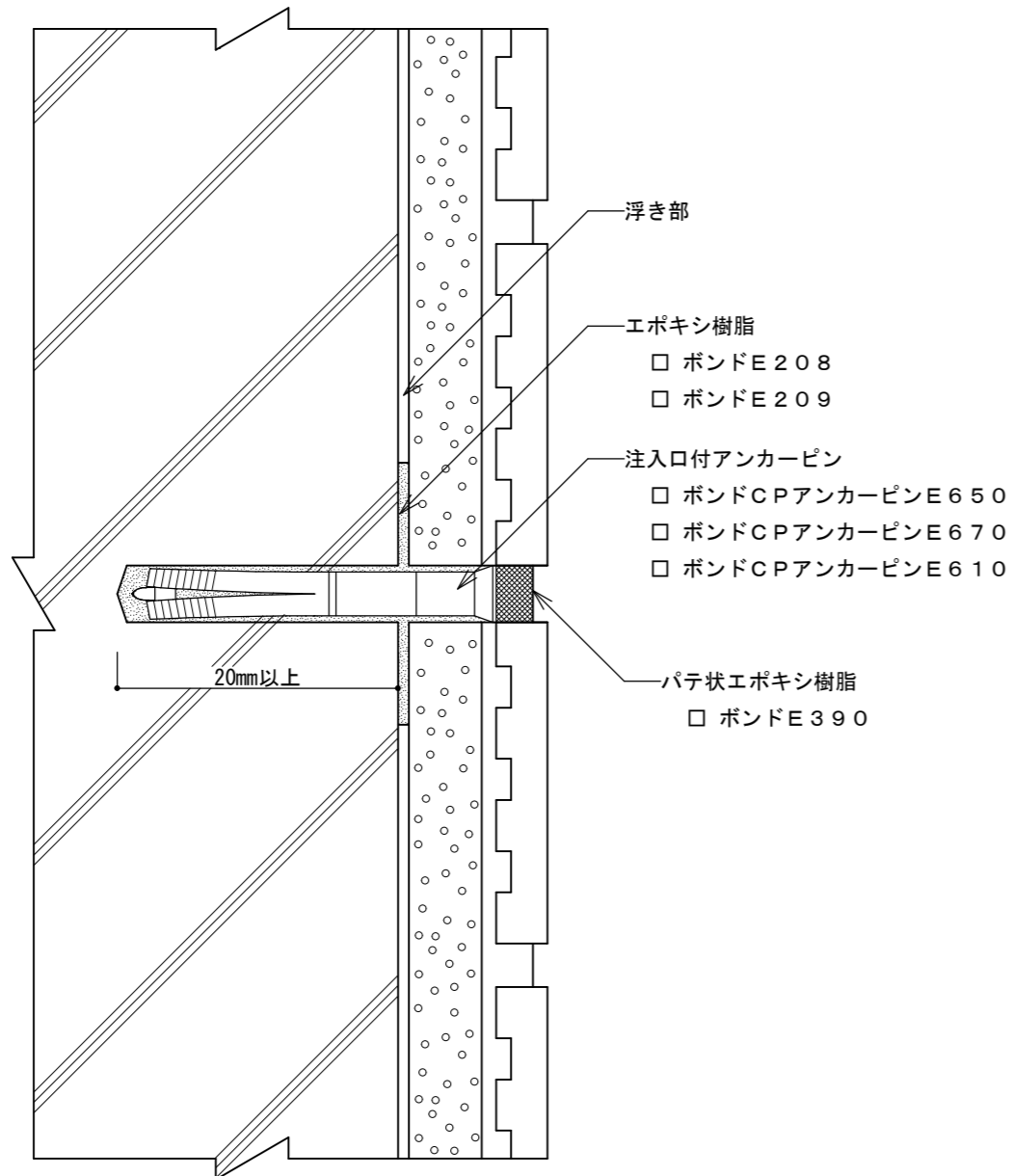


注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

BT-09-01

(タイル張り仕上げ外壁)



補修範囲の確認

・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。

アンカーピンニングの本数と配置の決定

・アンカーピンニングの穿孔位置を決定し、チョーク等でマーキングする。アンカーピンの標準本数は一般部分は9本/m²、指定部分（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ、隅角部分等をいう）は16本/m²とする。狭幅部は、幅中央に200mmピッチとする。
・マーキング箇所は基本的に目地部とする。

アンカーピンの決定

・アンカーピンの種類はモルタルの厚さにより決定する。（躯体に20mm以上の深さとする）
CPアンカーピンE650 φ6mm 長さ 50mm
CPアンカーピンE670 φ6mm 長さ 70mm
CPアンカーピンE610 φ6mm 長さ 100mm

アンカーピン挿入のせん孔

・専用のドリルビット（φ6.6mm）を用いたコンクリート用振動ドリルで壁面に対し直角にせん孔する。せん孔の深さは、選定したピンの長さより5mm程深くせん孔する。

孔内の清掃

・孔内の切粉等をブラシや圧搾空気等で除去する。

ピンの挿入・開脚

・アンカーピンを孔に挿入し、ハンマーで軽く叩いてモルタルの面まで打ち込んだ後、専用の打ち込み棒で先端の開脚部を拡張し固着する。

注入用エポキシ樹脂の計量・混合

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、十分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。

エポキシ樹脂の注入

・グリスポンプに専用ノズルを装着して、アンカーピンの注入孔から適切な圧力を保ち、徐々に注入する。充てん量は指定がある場合を除き25ml（約30g）/1カ所とする。

仕上げ

・注入孔に目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。

養生

・エポキシ樹脂注入後（夏期15時間、冬期24時間以上）衝撃を与えないようにし、また雨水等からも養生する。

清掃

・注入部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。

自主検査

・テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけを確認する。

図面番号： No. 32

縮尺： 1/1



BESTEM ボンドで創るベストシステム
— ベステム —